

ボランティア登録はじまりました!

ボランティア個人登録(するする)・ボランティア募集申込み(してして)

いせ市民活動センターでは、さまざまな市民活動とボランティアをつなぐため、ボランティア登録制度を持っています。ボランティアとは自主的に自分の余った時間とお金を使って行なう社会貢献活動です。学生からシニアの方まで老若男女問わず、ボランティアに興味のある方に登録してもらい、さまざまなボランティアに関する情報や地域のイベント情報を提供することで、ボランティアをしやすい環境を提供していきます。



ボランティア登録
(あるある)

■登録方法

ボランティア登録を希望する個人(するする)またはボランティア募集(してして)をしたい団体の方、それぞれ専用の申込用紙がありますので、事務局(いせ市民活動センター)に出向してください。
※ボランティア活動保険に加入したい場合は、別途用紙にて申込みできます。

■登録資格

主に伊勢市でボランティア活動を行なおうとする場合に登録できます。但し、公平良好に営む行為等が求められる場合は、いせ市民活動センターの判断で登録の取消が行われる場合もあります。



ボランティア募集申込み
(してして)

いせ市民活動センターがすることは…

まずは
情報収集

してみたい
ボランティアも
決めよう

参加手続きの方法も調べよう

参加手続きもある

★情報発信・収集

●メール配信

いせ市民活動センターから1週間に1回程度、ボランティア情報やイベント情報が配信されます。携帯のアドレスに登録するのが一番便利です。

●ホームページへの掲載

<http://isebora.seesaa.net/>
募集情報などはホームページに適宜掲載していきます。

★センターのホームページからアクセスできます。

●掲示板

いせ市民活動センターにあるボランティア掲示板にボランティア情報を掲載していきます。センターのスタッフに話を聞きながら情報収集できます。

★ボランティア情報
★イベント情報
も登録

●ボランティアに参加



※このボランティア登録は、登録をしてもらった個人の皆さんに、いせ市民活動センターが収集したボランティア情報やイベントの情報発信を行ない、それぞれの意思で参加したいボランティア活動を探すことができるものです。ボランティア活動で起こる問題やトラブルの責任は皆センターでは一切の責任を負いませんので、ご了承ください。

若者の就労支援の計画を進行中です

「若者就業サポートステーション」を伊勢に!!



パリティも
あうけし来る

いせコンビニネットでは19年度、三重県若者就労支援ネットワーク事業に参加し「若年無業者就労体験プログラム」事業を実施するなど、若者就労支援の試行をしてきました。そうして実績を把握することで、学校等を卒業もしくは中途退学後、就職していない(できない)若年者の職業的自立を支援する必要性を感じ、平成20年度からは、本格的に就業サポートの事業にとりこんでいくことを計画しています。

今後は三重県下の就業支援ネットワークとの連携はもちろん、市町行政などと連携しながら、南勢地域で若者自立支援ネットワークを構築すること、いせ市民活動センター内に「(仮称)いせ若者サポートステーション」としてネットワークの中心となる場を開設します。

例えば、仕事に就くことへの不安がある、人と話すのが苦手であるなどの理由で社会への第一歩を踏み出せないでいる若者や、そのことに関して心配しているご家族が、気軽にご相談いただける機関となり、対象者の受け入れとオファー先の確保、また啓蒙活動などを継続的に取り組んでいきます。

若者就労支援の考え方...

一般的な「ニート」ではない若者」という認識では解決できない社会問題であると捉え、4つの視点から包括的に支援を行うことが必要であると考えています。

- ①若年無業者はいわゆるひきこもりの状態にあることが多く、アイデンティティの確立に課題を抱えていることが多い。
- ②相談に来る若年無業者は、障害認定されているかどうかは別として、知的、発達、精神などにおいて何らかの課題を抱えており、神経症の症状を呈する者も多いため、単に就労に対する意欲付けやスキルアップといったことでは対応しきれない。
- ③精神科などの医療の治療を受けていることも多い。
- ④個々の支援体制の確立だけでなく、地域社会の課題としてネットワークの構築を行い、社会的支援体制を考えていく必要がある。

★速報!

平成20年度6月より
厚生労働省の委託事業として、「いせ若者就業サポートステーション」が
いせ市民活動センターに設置されることが決定しました
(事業主体=NPO法人いせコンビニネット)

「いせ若者就業サポートステーション」は、
さまざまな課題を抱え自立が困難な若者を支援するためのネットワークの軸となります。
就職・自立に関する不安やお悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。

○開設日

日曜・水曜をのぞく週5日

※水曜が祝日の場合は翌日以降の休日ではない日が休業日。※12/29-1/3は年末年始休業。

○時間

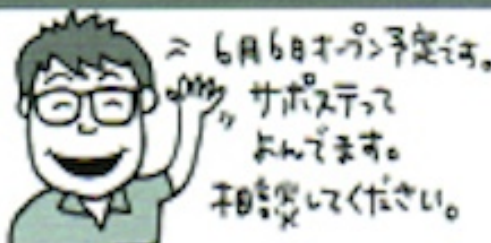
朝9時～夜7時まで

○利用対象者

学校卒業もしくは中途退学又は離職後、
一定期間無業の状態にある34歳くらいまでの若者と、その保護者。

○受け入れ

キャリアカウンセリング(要予約)
PM1時30分～7時まで
家族向け相談会
月2回程度(夜の開催を予定)



...というわけですからぜひお近くの就業センターへ

○問い合わせ

電話 0596-63-6603

FAX 0596-63-6613

メールアドレス spst@e-ise.net

ホームページ

<http://spst.e-ise.net>

伊勢の将来ビジョン 「みんなのまちの計画」が 完成しました！ ～まちづくり市民会議～

伊勢市まちづくり市民会議では、平成19年2月の設立から約1年をかけ、これからのまちづくりの目標となる伊勢の将来ビジョン「みんなのまちの計画」を完成させることができました。

会員の様々な、そして時には相反する想いを、ひとつの形にできたことは、大きな成果だとおもいます。でも、私たち市民会議の活動はこれで終わりではなく、計画の策定は、第一歩に過ぎません。今後の市民会議の活動は、いよいよ具体的行動の段階へ突入します。

ここに描いたビジョンも、実現するための具体的な行動につなげていかなければ、絵に描いた餅に終わってしまいます。ビジョンを実現する活動には、行政サービスの充実なども含まれますが、伊勢に暮らす一人ひとりの市民、また、自治会や様々な分野の団体などの専門性などを活かした主体的活動も欠かすことができない重要な活動です。

今後、市民会議に参加している団体や個人が、率先して活動を行っていきますが、市民会議に参加していない多くの団体や個人の協力が必要と考えています。

あなたの力を、ぜひ、伊勢のまちづくりにお貸しください。

(伊勢市まちづくり市民会議 事務局)



市民会議には、福祉や産業などさまざまな分野で活動している、自治会、業界団体、ボランティア団体、NPOなど、100以上の団体や個人が参加しています。



まちづくり市民会議のステップ！

step1 (平成18年2月18日設立～平成19年度末)
ビジョンづくり (目標の共有)
みんなのまちの計画

平成
20年度

step2
活動実践
目標の実現に向けて、
役割分担・連携...

それぞれが行動！
みんなが
自分のできることを！

活動の
見直し
これまでどおりの
活動でいい？

step3
状況確認
まちは良くなったかな？

(「まちづくり市民会議」発行リーフレットより)

「みんなのまちの計画」を発表する会を開催します。
～みんなでつくる伊勢のまち～

いっしょに
行動しませんか！

- 日 時 6月21日(土) 14:00～17:00
- 場 所 ハートプラザみその
- 概 要 ・「みんなのまちの計画」(伊勢の将来ビジョン)発表
・市民会議の活動報告 ・意見交換会
- 定 員 一般 150名

HP <http://www.city.ise.mie.jp/>

●問い合わせ/伊勢市まちづくり市民会議事務局

〒516-8601伊勢市岩田1-7-29(伊勢市行政経営課) TEL 0566-21-5510 FAX 0566-21-5642 e-mail gyousei-keisaku@city.ise.mie.jp

平成19年度伊勢市防災しみんの会では、 「立ち上げから軌道に乗るまでの 避難所立ち上げマニュアルづくり」 に取り組みました

この事業は、伊勢市の平成19年度の防災事業のひとつとして「伊勢市防災しみんの会」へ業務委託され、①「マニュアルづくりのための手引き」と、モデル地区として②「厚生小学校 大規模災害時 避難所活動マニュアル」の2編を作成しました。

★避難所の運営は、 行政と市民が共に行います

大規模な災害が発生したとき、地域の助け合いの拠点となる「避難所」。避難所を設置するのは行政の仕事ですが、実際は行政機構も被災してしまうため、集まった地域住民自身の手で避難所運営を行うことが必要になります。

災害時に避難所の運営を円滑に行うためには、事前に住民が中心になり、避難所になる施設の管理者、そして行政と協働して、いざというときの避難所運営について、特に災害発生直後の混乱時期をどう乗り越えるのかを話し合い、訓練しておくことが大切です。

「避難所活動マニュアル」とは、避難所が開設される災害発生直後の初動時に「だれが」「なにを」「いつまでに」するのか、いざというときにその通り動けるようにするためのものです。災害によって、また同市内でも地域によって状況が変わるものですから、どこにでも対応で



11月 講演会開催



9月～ 避難所開設・運営マニュアル作成会議開催

きるマニュアルを作成することは不可能です。できれば事前に各地域で話し合いや訓練をし、その結果を反映した地域にあったきめ細かいものに作り替えていくことが望ましいということで、「マニュアルづくりのための手引き」としてまとめました。

★厚生小学校区をモデルに 避難所を計画

大規模な災害が発生した時には、小学校が「避難所」となるため、この事業では厚生小学校避難所をマニュアル作成のモデルとしました。また今年度の委託事業では、マニュアルの作成だけでなく、ワークショップ、講演会などを企画し、地域の方に防災、避難所に対する認識を高めてもらうことが目的でもあるため、「厚生小学校避難所開設・運営ワークショップ」「地震防災講演会」などを開催しました。

マニュアルづくりは「災害時における避難所開設・運営マニュアル作成会議」として、小学校関係者、自治会、厚生地区まちづくり協議会など地域住民の参加協力で会議を重ね、マニュアル作成のための具体的な内容としては、避難所でやるべきことを順序だてて明確にしていきました。

ワークショップでは「学校ウォッチング(見取り図で避難所として使う場合をイメージする)」や、災害発生時から時間の流れに迫って「だれが」「なにを」「どうやって」すれば良いかを整理するなど、それぞれの立場や目線での意見を交換し、避難所開設が円滑に行えるようにマニュアルに反映しました。

その結果を「厚生小学校 大規模災害時 避難所活動マニュアル」としてまとめ、伊勢市に提出しました。今後各地域で参考にさせていただけることを願っています。

事業に関する問い合わせ／伊勢市危機管理課 伊勢
TEL 0595-21-5523

スタッフレポート



パルティのスタッフから
1月～3月のパルティ報告です！



地編です

京都市 市民活動総合センターに研修

3月15日京都市市民活動総合センターを研修しました。
センターは「ひと・まち交流館京都」という施設にあり、(特定)きょうとNPOセンターが指定管理者で、他に「福祉ボランティア」「長寿すこやか」「景観・まちづくり」というセンターが活動しており、設備の充実した複合施設でした。

職員は20名(内アルバイト3、非常勤2)でセンター内は市民の利用者でいっぱいでした。センターの一大イベントが次の日「みやこめっせ」であり見学しましたが150余の団体が参加してのフェスタ、活動の魅力を広い会場いっぱいアピールしていました。さすが伝統と歴史のある京都のまちに根づいた市民の力だと感じました。



青木です

リユースパソコン寄贈も 4回目になりました



3月1日に4回目のリユースパソコン寄贈プログラム寄贈式を開催しました。今回は伊勢と松阪と伊賀の市民活動センターと共同開催になりました。寄贈プログラムが三重県全体に広がっています。このプログラムは、NPO法人イーパーツさんが、リユースしたパソコンをパソコンを必要とされている市民活動団体の寄贈してもらっています。

市民団体の皆さんは、自分のパソコンを団体のパソコンとして使っていることが多いので団体専用があると活動もしやすくなると思います。次回もたくさんの応募をお待ちしています。

このパソコンが市民活動に役立ってくれば、うれしいなあ。



酒徳です

第2回 ミュージック コミュニケーション開催

今回は10組のミュージシャンが参加。「春」をテーマにしたオリジナル曲を披露。それぞれがそれぞれの独特な雰囲気や演奏に、会場はうっとり状態。

イベント時の集客には悩まされますが、今回は、センターに来ていた「就労体験」の若者達や出演者のファンの方がチラシ配りに協力して下さい、会場には、初めての人たちの顔が揃いました。

「昔の仲間と交流ができてよかった。」「コンサートに



誘ってもらってうれしいです。」と出演者の声、「とってもよかった。楽しかった。」観客の満足気な声も聞くことができました。

「音楽制作広場」での出会い、交流、オリジナル曲作成、そしてそのCD化へと夢は着実に進んでいます。また、みんなで創り上げているコンサートになってきていることを実感できたことはさらなる喜びです。

登録団体紹介！

いせ市民活動センター
登録団体リストから

ここでは、新しく登録された団体をご紹介します。
その他の団体については、お問い合わせ下さい
(一層ホームページでも紹介しています)

37会

伊勢地域で福祉、文化、環境、子育て等または各イベント等でサポートとして関わりまちづくりに貢献することを目的とします。

絵手紙ボランティアグループ ひまわり

独居高齢者に元氣になっていただくため季節に合わせた絵手紙を送付する活動を行い、交流と心の豊かさを図っています。また、学校、施設等で絵手紙教室、病院等で絵手紙の展示開催。

掃除に学ぶ会

伊勢支部 掃除を通して自分の「心の花み(すさみ)」と「社会の花み(すさみ)」をなくすことを目指しています。毎月第2火曜日、宇治浦駅前駐車場のゴミ拾いやトイレ掃除。

おはなしサークル なごみ

絵本や物語の持つ面白さや楽しさを知っていただくために子供からお年寄りまでを対象に絵本の読み聞かせを行っています。ユースタ、慶三郎、きらからんで定期的に開催。

いせ市民活動センター南館(バルティ)の会議室や、機材の利用には、団体登録が必要です。登録できるのは、公益活動を行う市民活動団体(個人でも可)。市民活動団体とは、ボランティアグループやNPOなど、公共に利益を与える活動をしている団体としています。

あなたの団体、サークル・グループは
バルティに登録していますか



バルティでは、市民活動の支援事業や、広報紙やケーブルテレビ、ホームページなどを利用して広報活動をしており、みなさんの素晴らしい活動を多くの方に知っていただくためにも、ぜひ、ご登録ください。

登録は無料！

詳しくはバルティスタッフにおたずね下さい。

南館 パルティいせ

登録団体が利用できる施設・設備について
★利用料金は、下記のとおりです。

- ◆会議室1 100円/時間 20名で利用できます
- ◆会議室2 100円/時間 8名で利用できます
- ◆会議室3 100円/時間 4名で利用できます
- ◆ブース ※現在空いているブースはありません。
- ◆貸しロッカー 200円/月
- ◆印刷機 マスター 40円/(1枚) インク20円/(50枚)
※印刷物を1部提出してもらいます。用紙は持ち込みです。

登録団体以外の方も利用できる設備

- ◆パソコン 50円/時間 主にインターネットにお使いください。
- ◆コピー 10円/(1枚) 用紙サイズに関係なく10円です

大判印刷 価格表

★大判印刷機サイズ

- 横断幕 59.4cm×1700cmまで
- ポスター A1 84.1cm×59.4cm
A2 60cm×42cm

用紙サイズ	印刷枚数	普通(黒)	ポスター	写真(真彩色)	単位:円
A 1		500	600	900	厚口コート紙使用
A 2		350	450	700	厚口コート紙使用
横断幕・縦断幕 (幅594×1700mm)		500	700	900	厚口コート紙使用
A 1		300	400	500	両面持ち込み価格
A 2		240	270	300	両面持ち込み価格
A 3		110	150	180	両面持ち込み価格
横断幕・縦断幕 (幅594×1700mm)		330	380	430	両面持ち込み価格

※ウインドウズデータやワードなどを持ち込んでのプリントが可能です。
※A3サイズの場合は、両面持ち込みに限ります
※登録団体以外は、利用料金が2割に上がります
※印刷は印刷スタッフにおたずね下さい。

★登録団体の活動を広報紙や
ケーブルテレビで紹介しています

いせ市民活動センターでは、「広報いせ」やケーブルテレビ(CTV)で市民活動の情報を発信しています。バルティのイベント情報や、登録されているたくさんの市民団体の素晴らしい活動を、もっと多くの方に知っていただきたいと思っています。みなさんもぜひ、番組や広報誌でごらんください。

- NPO法人ライフアカデミー
- (株)アイティービー
- (株)セーフティジャパン
- マエダ社労士事務所